

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ  
 小金井市議会議員／情報公開こがねい



# 週刊 渡辺大三 NEWS

【会派 NEWS】 2020(令和2)年 11月16日 週刊 vol.65  
 【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301  
 T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com  
 公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

本年度のデータが、先日の行革特別委に提出されました

## 徹底比較 市職員数こんなに違う！

人口類似市である小金井市と東久留米市

小金井市(人口12万2066人)

東久留米市(人口11万6929人)

	正規	任期付きフル	再任用フル	再任用短時間	会計年度任用(月額)		正規	任期付きフル	再任用フル	再任用短時間	会計年度任用(月額)
企画財政部	39	0	0	0	10	企画経営室	21	0	1	0	0
総務部	46	0	0	0	17	総務部	47	0	3	1	2
市民部	105	0	1	0	33	市民部	111	0	3	5	14
環境部	37	0	1	0	4	環境安全部	31	0	1	0	0
福祉保健部	86	1	0	0	40	福祉保健部	101	0	1	3	33
子ども家庭部	149	26	1	1	75	子ども家庭部	133	0	4	5	100
都市整備部	63	0	1	3	15	都市建設部	52	0	1	0	1
学校教育部	61	0	2	1	97	教育部	62	0	2	2	16
生涯学習部	34	0	1	0	28						
会計課	7	0	0	0	2	会計課	6	0	1	0	0
議会事務局	9	0	0	0	1	議会事務局	6	0	0	1	0
選管事務局	4	0	0	0	0	選管事務局	4	0	0	0	0
監査事務局	3	0	0	0	0	監査事務局	3	0	0	0	0
農委事務局	(3)	0	0	0	0	農委事務局	(3)	0	0	0	0
合計	643	27	7	5	322	合計	577	0	17	17	166

※令和2年4月1日現在。 ※「フル」⇒フルタイム勤務。 ※農委事務局の( )書きは兼務のためカウントしない。  
 ※両市の組織機構の違いが部課の異同があるため、比較しやすいよう、東久留米市の福祉保健部保険年金課は市民部に算入、東久留米市の環境安全部防災防犯課は総務部に算入、小金井市の環境部下水道課は都市整備部に算入した。  
 ※東久留米市の教育委員会は1部制(教育部)、小金井市は2部制(学校教育部・生涯学習部)を採用している。

上の表は、私の要求に応じて小金井市企画財政部行政経営担当が作成した資料の抜粋です。ご記憶の方もおられると思いますが、昨年8月22日発行の「週刊渡辺大三NEWS」(第25号)では、平成31年4月1日現在のデータを掲載しました。今回は、令和2年4月1日現在の最

新データが提出されましたので、お知らせ申し上げます。

結論から先に申し上げますと、小金井市の行政機構は、まだまだ「水ぶくれ」しており、さらなる行財政改革(職員数の削減)の必要性を改めて痛感した次第です。

比較条件を平等にするために、人口の違い(小金井市は東久留米市の1.043倍の人口)を加味して、東久留米市の職員数を1.043倍して比較してみますと、以下のようになります。

	小金井市	東久留米市
正規	643	601
任期付きフル	27	0
再任用フル	7	17
再任用短時間	5	17
会計年度任用 (月額)	322	173
合計	1004	808

提出された資料には、会計年度任用職員(時給)の数字がありませんでしたので、それを含めた分析も必要だと思いますが、「正規」「任期付きフル」「再任用フル」「再任用短時間」を単純合計した数字では、小金井市が682人、東久留米市(1.043倍後)が637人となり、小金井市は45人も「水ぶくれ」していることとなります。

会計年度任用職員(月額)も含めた分析では、小金井市が1004人、東久留米市(1.043倍後)が808人ですから、196人の「水ぶくれ」です。

なぜこういう違いが生じるのか、総論だけでなく、部課別の比較をさらに徹底し、さらなる行財政改革につなげていきたいと思えます。

## 決算の比較でも大きな違いが…

同じ東京多摩地域にあり、人口がほとんど同じ2市ですが、昨年度の一般会計決算を比較してみると、「お金の使い道」にも大きな違いが見えてきました。

歳入(市の収入)を市民一人当たり換算した額の、多摩26市での順位では、小金井市が18位、東久留米市が19位と、ほぼ同水準(中の下)にあります。つまり「入り」の条件は同じです。

一方、歳出(市の支出)を市民一人当たり換算した額では、とりわけ民生分野で、多摩26市での順位に大きな違いがあることが判明しました。

小金井市は、社会福祉費(障がい者福祉など)が25位、老人福祉費が25位、教育費が26位、保健衛生費が24位と低迷しています。つまり、これらの分野は優先順位が低くなっているということです。

一方、東久留米市は、社会福祉費(障がい者福祉など)が15位、老人福祉費が6位、教育費が14位、保健衛生費が14位となっています。つ

まり、これらの分野を優先しているわけです。

児童福祉費に関しては、小金井市が4位で、東久留米市が12位となっています。

## 多すぎる議員定数問題 削減求める請願、採決保留

11月10日、議会運営委員会は、市民団体(議員定数削減の会)が提出した「市議会議員定数の2減(24⇒22)を求める請願書」について質疑を行いました。採決に至らず、12月議会に再度審査することになりました。

先般実施した、市民2000人を対象にした意向調査(アンケート)の結果は、まだ公表されていません。採決保留の理由は、そこにあると思われる。

現在の定数(24)を「多い」と感じる市民が多いのか、「適当」と考える市民が多いのか、意向調査の結果が注目されます。

## ご意見ご提案をお願いします 市議選政策集づくりを進めています

来年3月14日告示・21日投票の日程で小金井市議会議員選挙が行われます。

現在、私ども「情報公開こがねい」では、市政政策集の作成に向けた準備を進めています。

市民の皆さんの声も政策づくりに活かしていきたいと考えております。ぜひ、小金井市政に対するご意見やご提案をお寄せくださいますようお願い申し上げます。どのような内容でもかまいません。

ご送付は、表面記載の連絡先(郵送、ファックス、Eメール)までお願い申し上げます。

### ◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。